

「雨の中の私」画における反応出現頻度とその発達的特徴

喜田 裕子・加藤 由紀

富山大学人文学部紀要第54号抜刷

2011年2月

「雨の中の私」画における反応出現頻度とその発達的特徴

喜田 裕子・加藤 由紀

要約

本研究の目的は、「雨の中の私」画法における各反応の出現頻度を、小学校高学年・中学校・高等学校・大学の学校種別に明らかにすることであった。小学校高学年から大学生まで計1354名の「雨の中の私」画を分析した結果、全体として最も出現頻度が高かったのは、普通～多めの雨の中、傘をさしている具象人であった。校種間で比較したところ、他校種に比べて、小学生は雨の量が多く、天と地のなかに具象的な自分を位置づける絵が多かった。中学生は斜め-横殴りの雨が多く、天も地も何も無いところに雨と自分だけが描かれる絵が多かった。また雨避けしない絵が多かった。高校生では、雨の量・激しさともにトーンダウンし、記号人が多く描かれた。大学生では少なめの雨に現実的かつ効果的な雨避けが多かった。また地面を示唆する描写が多く、いわば地に足のついた絵となった。このことから、思春期発達の心理的様相が「雨の中の私」画に反映することが示され、発達段階を踏まえた絵の解釈の必要性があらためて認識された。

I 問題

「雨の中の私」画（以下、「雨画」と省略する）は、Hammer（1958）によって紹介され、わが国では「主体が自己であることを明確にする」（澤柳，1990）ことを目的として「雨の中の私を描いてください」という教示で施行されるのが一般的である。さて心理検査で得られた粗得点は、そのままでは有益な情報をもたらすものではなく、その分布やそこから得られた統計的数値などの規準、すなわち「被検者の全体における相対的な位置について判断するための基準」が、解釈のために必要とされる（渡部，1993）。描画法を狭義の心理検査としてではなく、より広くかかわりの媒体として用いる際にもやはり、「妥当性をもって絵を読み深めるためには、標準からのズレ感覚をいかに磨くかが重要（藤掛，1999）」であり、絵を読み取るための前提となる基本的情報があることが望ましい。しかし、雨画に関しては、藤掛ら（1991）の非行少年を対象とした出現頻度調査があるのみである。雨画は基本的には思春期の表現を受けとめるのに適していると考えられる（Vernisら，1974）が、思春期は、小学生高学年、中学生、高校生、大学生の年代にそれぞれ相当する前思春期、思春期前期、思春期中期、思春期後期（藤山，1998）と幅広いため、雨画表現においてもそれぞれの発達的特徴が異なると予想される。そこで本研究では、健常者を対象として、雨画の各反応の出現頻度を、思春期の各段階に対応する

学校種別に明らかにすることを目的とする。

Ⅱ 方 法

調査時期および対象：2006年12月～2007年7月に調査を実施した。対象は中部地方A県およびB県の2つの小学校の5－6年生全員、計274名(男子123名、女子151名)、3つの中学校の1、2、3年生526名(男子267名、女子259名、うち1校は調査時に学校から求められたために全校生徒を対象とし、残りの2校は第2学年全員を対象とした)、2つの高等学校の第2学年全員、計377名(男子118名、女子259名)、A大学の学生177名(男子107名、女子73名、平均年齢18.32歳、SD=0.89)、以上計1,354名であった。

材料：先行研究では、澤柳ら(1989)、丹治ら(1993)は8つ切り画用紙を、藤掛ら(1991)はB5版の用紙を用いている。本研究では、B5版に近い大きさで、かつ、学校でなじみの深い素材として、半分に切った8つ切り画用紙(16.5×21.5cm)を用いた。鉛筆は、人物画の場合、2Bが一般的だと思われるが、今回バウムテストを同時に実施した都合上、4Bのものを用いた。

手続き：原則として調査者がクラスごとに集団実施した。静粛を保ったうえで、描き手の心理状況を把握するための心理検査に関する調査であること、心理検査のつもりで参加してほしいこと、絵の上手下手は問わないが丁寧に描いてほしいこと、写生ではないこと、描き終わったら目を閉じて静かに待っていてほしいことなどを、あらかじめ作成した実施マニュアルに沿って教示した。諸事情でクラスの担任が実施する場合は、マニュアルどおり正確に実施するよう依頼した。縦方向で用紙を提示し、はじめにバウムテスト、次に「雨の中の私を描いて下さい」という教示で雨画を描いてもらった。消しゴムの使用に制限はしなかった。次に描画後質問紙、ストレスおよびストレスコーピング質問紙に回答してもらった。所要時間はおおむね50分程度であった。紙幅の関係で、今回は雨画のデータについてのみ報告する。

評定：大山ら(1994)を参考に、分析指標(以下、「指標」と記述する)及び評定基準を設定した。小・中・高等学校各1校ずつのデータについて、心理学を学ぶ学生7名が各指標2名ずつに割り振られて独立に評定した。人物の表情については、描写があきらかであるものを除くと客観的な評定が困難であることが評定者から報告され、一致率が低かった(0.55)ため、評定を中止した。それ以外の項目は、一致率が0.75以上と許容範囲であった。データ数が膨大なため、その後の評定は学生が1名ずつ担当して行い、最終的に調査者が全体をチェックして評定を決定した。なお、構成、雨粒の中の私、傘の前に顔の各項目は、実際に評定を行うなかで気になって新たに追加したものであり、調査者2名の合議によって評定した。

表 1. 絵の分析指標(一致率)と評定項目(『』に記述)およびその基準

形式	サイズ (0.78)	描画全体が画用紙のどれくらいの大きさと描かれているか 『1/3未満』『1/3～1/2』『1/2以上』『はみ出す』
	絵の位置・左右(0.93)	絵全体の位置が画用紙の左右方向のどこに描かれているか 『左寄り』『中央』『右寄り』
	絵の位置・水平(0.82)	絵全体の位置が画用紙の上下方向のどこに描かれているか 『下寄り』『中央』『上寄り』
	人物の位置・左右(0.89)	人物が絵の構図中の左右方向のどこに描かれているか 『左寄り』『中央』 『右寄り』
	人物の位置・水平(0.93)	人物が絵の構図中の上下方向のどこに描かれているか 『下寄り』『中央』 『上寄り』
	雨の位置(0.78)	雨が絵の構図の中でどの部分に描かれているか 『雨なし』『全体』『上半分のみ』『自分の周辺のみ』『自分以外』
	筆圧(0.93)	描線の強さがどのようか(評定者による判断) 『とても弱い』(消えそうなくらい細く弱い)『弱い』『普通～強い』『とても強い』
	絵の構成	『なし』(背景に何も描かれていない)『天のみ』(雲や太陽、雷などによって天が示唆されている)『地のみ』(水たまりや地平線などによって地が示唆されている)『天地のみ』『現実的背景』(家や建造物、木など現実的な背景が描かれている)『抽象的・空想的背景』(模様や非現実的な背景が描かれている)
雨	雨の量(0.76)	『なし』『少ない』『普通～多い』『かなり多い』
	雨の形態(0.75)	『粒』『点・直線』『(粒と点・直線の)混合』『塗りつぶし』
	雨の向き(0.90)	『ほぼ垂直』『斜め一横殴り』(約30度を目安、垂直との混合も含む)『評定不能』(雨の描写がないなど)
雨避け	雨避けの方法(0.95)	重複評定『なし』『傘一使用』『傘一使用せず』(傘を描いているが使用していない)『レインコート』『長靴』『雨具以外の雨具の使用』(荷物や葉っぱなど、雨具以外のもので雨を避けている)『室内』『車内』『軒下』『木の下』『その他』
	雨避けの効果(0.88)	『防げていない』『あまり防げていない(傘からはみ出していたりレインコートのフードをかぶっていない、水たまりに足が浸かっているなど、濡れる部分がある)』『防げている』『評定困難』
人物	人物の形態(0.95)	渡部(2005)を参考に、『人物なし』『棒人間』『胸部にふくらみのある記号人』『白抜き記号人』『具象人』『キャラクターなど』『その他』(図1)
	身体欠損(0.92)	人物の身体の要素で描かれていない部分。はみ出しは含まない。重複評定。『欠損なし』『足欠損』『手欠損』『目欠損』『口欠損』『頭部欠損』『身体部欠損』『その他』
	身体のはみ出し(0.97)	画用紙からはみ出しがある場合、描写部分を中心に評定 『はみだしなし』『足から上のみ描写』『胸・腰から上のみ描写』『首から上のみ描写』『右半身のみ描写』『左半身のみ描写』『首から下のみ描写』『胸・腰から下のみ描写』『足のみ描写』『その他』
	人物の向き(0.94)	人物が全体として向いている方向:『前』『横』『後ろ』『斜め後ろ』『その他』
	人物の運動(0.80)	『運動の示唆なし』『静かな運動』(歩く・話すなど)『強い運動』(走る・自転車に乗るなど活発な動き)『評定困難』

人物	顔の有無 (0.91)	加藤ら(2006)を参考に人物の形態と顔の組み合わせで評定。『顔あり』とは少なくとも目が描かれていること、『自然に顔を隠す』とは後姿や傘で、顔が自然に隠れていること『記号人顔あり』『記号人顔なし』『記号人自然に顔を隠す』 『具象人顔あり』『具象人顔なし』『具象人自然に顔を隠す』『その他』
	足もと (0.98)	『足もとの描写なし』『水に浸かっていない』『水に浸かる(長靴),(長靴なし)』『足もと(1cm以内)に水たまり(長靴),(長靴なし)』
	雨粒の中の私	雨粒の中に人物が描かれている。該当の有無で評定。(図2に例示)
	傘の前に顔	該当の有無(図3に例示)
付加物	付加物の有無 (0.88)	全体として、雨・傘・私以外の描写の有無
	付加物の種類	「私以外の人物(0.98)」「なし』『あり単数』『あり複数」:「(私とその人物との)関係」(0.96)『示唆あり』『示唆なし』『雲(0.83)』『稲妻(0.97)』『太陽(0.98)』『虹(1.00)』『水たまり(0.82)』『水はね』『草花(0.96)』『樹木(0.99)』『動物(0.96)』『道(0.79)』『建造物(0.91)』『自然(0.99)』『武器(1.00)』『その他』

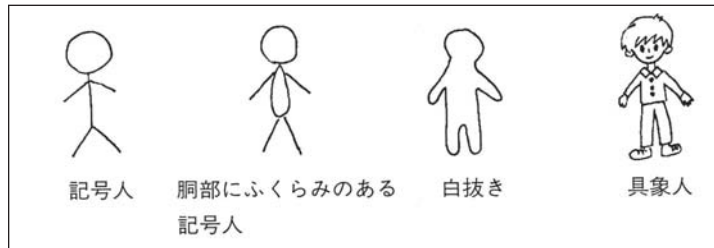


図1 人物の形態



図2 雨粒の中の私 (例)



図3 傘の前に顔 (例)

Ⅲ 結果

1 各指標の出現率

各指標の学校種別出現頻度とその比率を文末の付表に示す。各指標において出現率に差があるかどうかを、 χ^2 検定およびライアン法による多重比較で実施した(有意水準5%,

JavaScript-STAR version 4.4.1)。全体でもっとも出現率の高いカテゴリとその出現率，および学校種間の比較で有意であったものを表2～表4にまとめた。

表2 絵の指標（形式）と出現率および学校種間の比較

	全体：最も出現率の高いカテゴリと出現率	小学生	中学生	高校生	大学生
サイズ	『1/2以上』 71.1%		↓『1/3～1/2』	↑『1/3未満』 ↑『1/3～1/2』	↓『1/3未満』 ↑『1/2以上』
絵の位置・左右	『中央』 86.9%		↑『左寄り』・『右寄り』 ↓『中央』	↓『左寄り』	
絵の位置・水平	『中央』 77.9%		↓『上寄り』 ↑『中央』	↓『中央』 ↑『下寄り』	↑『上寄り』 ↓『中央』
人物の位置・左右	『中央』 65.9%	↑『右寄り』		↓『右寄り』	↓『右寄り』・『中央』
雨の位置	『全体』 75.2%	↑『自分の周辺のみ』 ↓『自分以外』	↑『全体』 ↓『上半分のみ』	↓『全体』 ↑『上半分のみ』	↑『全体』 ↓『上半分のみ』
絵の構成	小・中・高で『背景なし』(34.1～44.3%) 大で『地のみ』(36.7%)	↓『なし』 ↑『天のみ』『天地』	↑『なし』 ↓『天地』		↓『天のみ』 ↑『地のみ』
筆圧	『中～強い』 68.1%	↑『とても強い』 ↓『弱い』			↑『とても弱い』・『弱い』

(↑↓：他の学校種に比して有意に出現率が高い・低い)

表2より、サイズは全体として1/2以上の絵が多かった。校種で比較すると、他校種に比して高校生で1/3～1/2、1/3未満の小さい絵が多く、大学生で1/2以上の絵が多かった。

雨の位置は全体として画面全体に描かれるものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生で自分の周辺のみ而降る雨が多く、中学生では全体、高校生ではいったん全体が減って上半分のみ以降る雨が多くなるが、大学生ではまた全体に描かれることが多かった。

筆圧は全体として中～強いものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生でとても強いが多く、大学生でとても弱い・弱いが多かった。

表3 絵の指標（雨・雨避け）と出現率および学校種間、性別の比較

	最も出現率の高いカテゴリーと出現率	小学生	中学生	高校生	大学生
雨の量	『普通～多い』 69.6%	↓『雨なし』 ↑『かなり多い』	↓『雨なし』	↑『雨なし』 ↓『かなり多い』	↑『少ない』
雨の形態	『点線・直線』 66.9%	↓『粒』 ↑『混合』	↓『粒』 ↑『点線・直線』	↑『粒』『点線・直線』 ↓『混合』	
雨の向き	『ほぼ垂直』 77.4%		↑『斜め・横殴り』	↓『斜め・横殴り』	
雨避けの方法	『傘をさしている』 66.4%	↑『傘を差して長靴をはいている』	↑『雨避けなし』		↓『雨避けなし』 ↑『傘をさしている』 ↓『傘を差して長靴をはいている』
雨避けの効果	『防げている』 49.9%	↑『あまり防げていない』 ↓『防げている』	↑『防げていない』		↓『防げていない』 ↑『防げている』

(↑↓：他の学校種に比して有意に出現率が高い・低い)

表3より、雨の量は全体として普通～多いものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生でかなり多く雨が描かれることが多く、高校生では雨が描かれないことが多くなるが、大学生では少なめの雨が描かれた。

雨の向きは全体として垂直が多かった。校種で比較すると、他校種に比して中学生で斜め・横殴りの雨が描かれ、高校生ではそれが少なかった。

雨避けの方法は全体として傘をさしているものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生で傘をさした上に長靴を履いているものが多く、中学生では雨避けなしが多かった。大学生では雨避けなしが減り、傘をさしているものが多くなった。

雨避けの効果は全体として防げているものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生では、傘をさしていても傘から自分が若干はみ出している描写が多く、結果的にあまり防げていないが多かった。中学生では雨避けなしの絵が多かったことにともない、防げていない絵が多くなった。大学生では防げていないものが少なく防げている絵が多かった。

表4 絵の指標（人物）と出現率および学校種間の比較

	最も出現率の高いカテゴリーと出現率	小学生	中学生	高校生	大学生
人物の形態	『具象人』 81.0%	↑『具象人』 ↓『棒人間』・『白抜き記号人』	↑『具象人』	↓『具象人』 ↑『棒人間』・『白抜き記号人』	↓『具象人』
身体の欠損	『欠損なし』 59.8%	↑『欠損なし』 ↓『足』『眼』『口』の欠損	↑『欠損なし』	↓『欠損なし』 ↑『足』『眼』『口』の欠損	↓『欠損なし』 ↑『眼』『口』の欠損
身体のはみだし	『はみだしなし』 86.5%	↓『はみだしなし』			↑『はみ出しなし』 ↓『足から上のみ記述』
人物の向き	『前向き』72.7%	↑『前』		↓『横』	↓『前』 ↑『横』・『後ろ』
人物の運動	『運動なし』70.7%				↑『強い運動』
顔の有無	『具象人顔あり』 59.6%	↓『記号人顔なし』 ↑『具象人顔あり』 ↓『具象人顔なし』 『具象人自然に顔を隠す』	↓『記号人顔なし』	↑『記号人顔なし』 ↓『具象人顔あり』	↑『記号人顔なし』 ↓『具象人顔あり』
足もと	『足もとの描写があり水に浸かっていない』68.9%		↑『足もとの描写なし』	↑『足もとに水たまり（長靴なし）』	

(↑↓：他の学校種に比して有意に出現率が高い・低い)

表4より人物の形態は全体として具象人が多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生と中学生で具象人が多く、高校生と大学生で具象人が少なかった。特に高校生では棒人間と白抜き記号人が多かった。

身体の欠損は全体として欠損なしが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生と中学生で欠損なしが多く、特に小学生では足や眼・口の欠損が少なかった。高校生と大学生では欠損なしが少なくなり、特に高校生では眼・口の欠損のほかに足の欠損が、大学生では眼・口の欠損が多かった。

人物の向きは全体として前向きに描かれるものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生で前向きが多く、大学生で横向きと後ろ向きが多かった。高校生では横向きの絵が

少なかった。

人物の運動は全体として運動なしが多かった。校種で比較すると、他校種に比して大学生で強い運動が描かれることが多かった。

顔の有無は全体として具象人顔ありが多かった。校種で比較すると、他校種に比して小学生で具象人顔ありが多く、具象人顔なしと具象人で自然に顔を隠すものが少なかった。高校生と大学生で具象人顔ありが少なく記号人顔なしが多かった。

足もとは全体として足もとの描写がありかつ足が水に浸かっているものが多かった。校種で比較すると、他校種に比して中学生で足の描かれない絵が多く、高校生では足もとに水たまりがあつて足が水に浸かっている絵が多かった。

(4) 付加物

小・中・高校生で付加物『あり』が有意に多かった。出現率の高い付加物は、降順で、小学生では『雲』『水たまり』『水はね』、その他の校種では『水たまり』『雲』『水はね』『建造物』だった。今回設定した付加物の項目以外で比較的多くみられた付加物は、『地平線』『車』『影』『風』『文字・せりふ』であった。

IV. 考 察

小学校高学年から大学生まで全体として最も出現頻度が高かったのは、普通～多めの雨の中、傘をさしている具象人であった。したがってこれが（少なくともこの年代における）雨画の標準反応といえる（図4～図11に例を示す）。雨の量は、普通と多めを客観的に区別して評定するのが難しかったので、評定は雨なし、少ない、普通～多い、かなり多いの区分で行った。つまり普通～多めの雨とは、雨のまったく描かれなかった雨なしという少数派を除いて、雨の量の程度としては、中間的な程度に該当するといえる。また傘をさしているのは、解釈仮説に照らせば適切で合理的な対処ができる状態と読むことができる。加藤ら（2006, 2008）は、大学生を対象とした描画とインタビュー調査により、雨画に込められる描き手のおもいが、統計的には3類型に分けられることを示した。クラスター1は「明るい楽しい、しとしと続く雨に楽しい気持ち」、クラスター2は「激しく暗い通り雨に対抗心、背後に怒り」、クラスター3は「妨害的で暗い雨に、憂うつで孤独」な気持ちであった。そして自己報告・他者評定の両方で、クラスター1が全体の約5割前後を占めていた。以上をふまえると、雨画は本来、ストレス状況に対する自己のありかたが反映されると考えられるが、そもそも一定数の描き手は、ストレス状況を特に意識しないで、常識的な傘による雨避けを描くのかもしれない。だからこそ、形式的には標準反応であっても、絵から伝わってくる情緒的雰囲気はどう読み取るかという視点が重要だと考えられた。

「雨の中の私」画における反応出現頻度とその発達の特徴



図4 小学生男子



図5 小学生女子



図6 中学生男子



図7 中学生女子



図8 高校生男子



図9 高校生女子



図10 大学生男子



図11 大学生女子

次に校種で比較した結果について考察する。小学校高学年では、筆圧が強く雨の量も多い。人物は前向きが多く、傘をさしていても人物がそのなかに入りきらない描写となるために、効果的ではない雨避け表現になることが多いようである。構成で、天のみが多いのは、大学生で地のみ描かれることが多いのと対照的である。小学校では、雨を最初に描き始める者が一定数認められ、雨という教示に注意が向けられやすいことが伺える。また天と地のあいだに自分を位置づける絵も小学生が多い(図12, 13)。一方中学生では、背景なしに自分だけが描かれる絵が多い。つまり描写力の発達に伴って背景が描かれるようになっていくのではなく、いったん描かれた背景がいちど描かれなくなり、その後再び描かれるようになるという過程が示された。



図12 小学生男子



図13 小学生女子

中学生になると、おおむね自分を最初に描き始めるようであった。ここに自分を中心に据える主体性の発達が見て取れる。と同時に、背景が描かれず自分だけがぽつんと描かれる絵（図14）は、中学生の段階で生じる、心理的親離れと価値の相対化による拠りどころのなさを表しているように思われる。くわえて中学生で増える、雨に打たれる絵（図14～16）からは、孤独に奮闘している強い情緒的印象が感じられることが多い。これは、中学生の発達段階で、それまで主たる依存愛情対象であった親からの脱備給が起こり、浮動性となったりビドーが自己に向け換えられることによる万能感の高揚が生じやすい（皆川、1985）こととの関連で理解できるのではないかと考える。特に、斜め-横殴りの雨の中に雨避けなしの絵（図15、17）は、いかにも思春期の嵐の中といった風情である。



図14 中学生女子



図15 中学生男子



図16 中学生女子



図17 中学生男子

高校生ではサイズが小さく筆圧も弱まり、エネルギーが全体としてトーンダウンする。雨も画用紙全体には描かれなくなる傾向が増える（図19、20）。顔なしの記号人（図18）が多いのは大学生と同じだが、異なるのは、高校生で雨がまったく描かれない絵（図21）が多いことである。横向きの人間は、たいていどこかへ向かう途中の自分として描かれることが多い。高校生で横向きの人間が少ないのは、絵にストーリー性を積極的に付与しないことと関連しているのかもしれない。以上から、少なくとも本研究のような集団実施の設定においては、描画で自己を表現することに対して高校生があまり自我関与しない様子が伺える。バウムテストでは、成長するに従って適度に簡略化した絵が描かれる傾向（青木、1985）が知られており、同様の現象であると理解できる。と同時に、高校生全体としては少数だが、足もとが水に浸かって濡れている絵（図19）や足そのものが欠損した絵が、校種間の比較では多かったことを考えると、もしかしたら高校生ではストレスや苦悩があった場合、中学生のように激しく自己主張すること自体は減るものの、それが軽減したというよりは内に抱えられて、表出されにくくなる面があるのではないかと推測された。



図 18 高校生男子



図 19 高校生女子



図 20 高校生男子



図 21 高校生女子

大学生では再び適度な大きさとなり、顔なし記号人（図22）が他校種に比して高校生とともに多いものの、人物の強い運動を示唆する絵（図22, 24）が増えて、ストーリー性のある絵が多く描かれるようになる（図22～24）。また構成的には地面が示唆される絵（図22～24）が多く、人は文字通り、地に足がついたかたちで表現される。高校生でいったん雨を描かない絵が多くなるが、大学生ではふたたび雨が描かれ、現実的かつ効果的に傘で雨避けする絵が多



図 22 大学生男子



図 23 大学生男子



図 24 大学生女子



図 25 大学生女子

その他

全体としてはごくまれな反応として、文字通り大きな雨粒の中に「私」が描かれた絵が、中学生で4例(1.5%)、高校生で2例(0.5%)見られた。今回は大学生では見られなかったが、ときどき大学生にも出現することがある。ロールシャッハテストにおける空白反応のような、なんらかの反対傾向(片口, 1974)を示唆していると思われる。また、「傘の前に顔」は小学生で16例(5.9%)、中学生で17例(3.2%)、高校生で14例(3.8%)、大学生で2例(1.1%)見られた。認知的には空間的奥行きをめぐる構成的処理の発達を、情緒的には「重ねる」ことのできない硬さを示すのではないかと考えられるが、これについては検討できるデータが乏しいので、今後の課題である。

以上、「雨の中の私」画法における各反応の出現頻度を、学校種別に明らかにし、その特徴について検討した。思春期発達の心理的様相が「雨の中の私」画に反映することが示され、発達段階を踏まえた絵の解釈の必要性があらためて認識された。

引用文献

- 青木健次 1986 バウムテスト 臨床描画研究 1, 68-86
- 藤掛明 1999 描画テスト・描画療法入門 金剛出版
- 藤掛明・佐々木恵美・大山晋 1991 非行少年の「雨の中の私」画の分析 犯罪心理学研究 29, 88-89
- 藤山直樹 1998 思春期・青年期精神医学 小此木啓吾他編 精神医学ハンドブック 創元社 332-337
- Hammer, E.F. 1958 Clinical application of projective drawings. Illinois: Charles C. Thomas
- 片口安史 1974 改訂新・心理診断法 金子書房
- 加藤由紀・山下委希子・喜田裕子 2006 雨中人物画法の解釈仮説をめぐる基礎的研究①-「雨」のイメージと「私」の気持ちに注目して 第16回日本描画テスト・描画療法学会発表論文集, 57
- 加藤由紀・山下委希子・仲嶺(喜田)裕子 2008 雨中人物画法において描き手は「雨のイメージ」と「私の気持ち」をどのように表現するのか 臨床描画研究 23, 159-177
- 皆川邦直 1985 前青春期・初期青春期の精神療法 小此木圭吾他編 精神分析セミナーV 発達とライフサイクルの観点 岩崎学術出版社 141-176
- 大山晋・須藤恵美・松島正幸・藤掛明 1994 非行少年の「雨の中の私」画の分析(4) 犯罪心理学研究 32, 26-27
- 澤柳志津江 1990 「雨の中の私」と病状の変遷 ロールシャッハ研究 32, 123-137.
- 澤柳志津江・石川元・川口浩司・大原健士郎 1989 「雨中人物画」にあらわれた森田療法の治療過程 臨床精神医学 18 (1), 81-89
- 丹治光浩・松本真理子・今泉寿明 1993 描画法におけるストレスの投影性に関する研究-課題画「坂道と私」「雨の中の私」の比較を通して- 臨床描画研究 8, 202-212.
- Verinis, J.S., Lichtenberg, E.F.&Henrich, L. 1974 The draw-a-person in the rain technique: Its relationship to diagnostic category and other personality indicators Journal of clinical psychology 30, 407-414
- 渡部洋 1993 心理検査法入門 福村出版
- 渡部未沙 (2005). 継続面接における風景構成法の作品変化について 心理臨床学研究 22, 648-658

付記

本論文は、加藤由紀による平成19年度富山大学人文科学研究科修士論文「雨中人物画法の解釈仮説に関する基礎的研究」の一部をもとに、第1筆者が大幅に加筆修正したものである。調査に協力いただいた富山県スクールカウンセラー 山下委希子さん、学校関係者のみなさん、評定に協力いただいた富山大学人文学部(当時)南宏樹さん他の方々に感謝します。

「雨の中の私」画における反応出現頻度とその発達の特徴

表1 評定項目の判断基準における各学校種ごとの人数と出現率

		小学生		中学生		高校生		大学生		合計		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%			
形式	絵全体のサイズ	画用紙の1/3未満	22	8.1	51	9.7	69	18.5	11	6.2	153	
		1/3以上1/2未満	22	8.1	47	9.0	60	16.1	22	12.4	151	
		1/2以上	205	75.1	388	74.0	228	61.1	137	77.4	958	
		はみ出す大きさ	24	8.8	38	7.3	16	4.3	7	4.0	85	
		合計	273		524		373		177		1347	
	絵全体の左右の位置	左寄り	30	11.0	47	9.0	38	10.2	14	7.9	129	
		中央	236	86.4	465	88.7	311	83.4	159	89.8	1171	
		右寄り	7	2.6	12	2.3	24	6.4	4	2.3	47	
		合計	273		524		373		177		1347	
	絵全体の水平の位置	下寄り	18	6.6	32	6.1	34	9.1	6	3.4	90	
		中央	222	81.3	432	82.4	270	72.4	125	70.6	1049	
		上寄り	33	12.1	60	11.5	69	18.5	46	26.0	208	
		合計	273		524		373		177		1347	
	人物の左右の位置	左寄り	53	19.4	80	15.3	51	13.7	30	17.3	214	
		中央	185	67.8	357	68.4	238	64.2	102	59.0	882	
		右寄り	35	12.8	85	16.3	82	22.1	41	23.7	243	
		合計	273		522		371		173		1339	
	人物の水平の位置	下寄り	239	87.5	423	81.0	307	82.7	145	83.8	1114	
		中央	32	11.7	95	18.2	63	17.0	27	15.6	217	
		上寄り	2	0.7	4	0.8	1	0.3	1	0.6	8	
		合計	273		522		371		173		1339	
	雨の位置	雨なし	2	0.7	11	2.1	28	7.5	5	2.8	46	
		全体	207	75.8	414	79.0	247	66.2	145	81.9	1013	
		上半分のみ	40	14.7	50	9.5	61	16.4	11	6.2	162	
		自分の周辺のみ	21	7.7	21	4.0	17	4.6	4	2.3	63	
		自分以外	2	0.7	28	5.3	16	4.3	12	6.8	58	
		その他	1	0.4	0	0.0	4	1.1	0	0.0	5	
	合計	273		524		373		177		1347		
筆圧	とても弱い	4	1.5	7	1.3	4	1.1	7	4.0	22		
	弱い	39	14.3	102	19.5	82	22.0	45	25.4	268		
	中～普通	187	68.5	369	70.4	249	66.8	112	63.3	917		
	とても強い	43	15.8	46	8.8	38	10.2	13	7.3	140		
	合計	273		524		373		177		1347		
絵の構成	なし	93	34.1	232	44.3	155	41.6	63	35.6	543		
	天のみ示唆	39	14.3	59	11.3	31	8.3	10	5.6	139		
	地のみ示唆	65	23.8	122	23.3	96	25.7	65	36.7	348		
	天地のみ示唆	50	18.3	47	9.0	45	12.1	16	9.0	158		
	現実的背景	26	9.5	61	11.6	44	11.8	21	11.9	152		
	抽象的・空想的背景	0	0.0	3	0.6	2	0.5	2	1.1	7		
	合計	273		524		373		177		1347		
雨	雨の量	なし	2	0.7	11	2.1	28	7.5	5	2.8	46	
		少ない	30	11.0	77	14.7	62	16.6	31	17.5	200	
		普通～多い	188	68.9	372	71.0	251	67.3	126	71.2	937	
		かなり多い	53	19.4	64	12.2	32	8.6	15	8.5	164	
		合計	273		524		373		177		1347	
	雨の形態	なし	2	0.7	10	1.9	28	7.5	5	2.8	45	
		粒	36	13.2	61	11.6	112	30.0	39	22.2	248	
		点線・直線	194	71.1	389	74.2	201	53.9	116	65.9	900	
		混合	39	14.3	59	11.3	28	7.5	15	8.5	141	
		差りつづし	2	0.7	5	1.0	4	1.1	1	0.6	12	
	合計	273		524		373		176		1346		
雨の向き	評定不能	2	0.7	10	1.9	30	8.0	6	3.4	48		
	ほぼ垂直	222	81.3	393	75.0	290	77.7	139	78.5	1044		
	斜め・横殴り	49	17.9	121	23.1	53	14.2	32	18.1	255		
	合計	273		524		373		177		1347		
雨避け	雨避け方法	なし	49	17.9	130	24.8	80	21.4	27	15.3	286	
		傘(さしている)	189	69.2	333	63.5	242	64.9	131	74.0	895	
		傘(描いているが使用していない)	4	1.5	13	2.5	6	1.6	3	1.7	26	
		レインコート	2	0.7	4	0.8	2	0.5	1	0.6	9	
		長靴	0	0.0	2	0.4	2	0.5	1	0.6	5	
		雨具以外の雨具の使用	1	0.4	2	0.4	0	0.0	2	1.1	5	
		室内	0	0.0	4	0.8	6	1.6	0	0.0	10	
		車内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
		軒下	3	1.1	7	1.3	3	0.8	1	0.6	14	
		木下	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.6	2	
		その他	0	0.0	1	0.2	3	0.8	1	0.6	5	
		傘をさして長靴をはいている	22	8.1	21	4.0	21	5.6	3	1.7	67	
		傘を持っているが使用しておらず、長靴を履いている	0	0.0	1	0.2	1	0.3	0	0.0	2	
		レインコートを着て長靴をはいている	3	0.0	1	0.2	2	0.5	2	1.1	10	
		傘をさしてレインコートを着て長靴をはいている	0	0.0	4	0.8	4	1.1	4	2.3	12	
		傘を持っているが使用しておらず、レインコートと長靴を履いている	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	
			合計	273		524		373		177		1347

富山大学人文学部紀要

			小学生		中学生		高校生		大学生		合計	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
雨避け	雨避けの効果	防げていない	62	22.7	155	29.6	90	24.1	32	18.1	339	
		あまり防げていない	96	35.2	111	21.2	77	20.6	36	20.3	320	
		防げている	114	41.8	254	48.5	198	53.1	106	59.9	672	
		評定困難	1	0.4	4	0.8	8	2.1	3	1.7	16	
		合計	273		524		373		177		1347	
人物	人物の形態	棒人間	0	0.0	2	0.4	3	0.8	3	1.7	8	
		胸部にふくらみのある記号人	10	3.7	37	7.1	51	13.7	20	11.4	118	
		白抜き	1	0.4	4	0.8	7	1.9	2	1.1	14	
		具象人	9	3.3	34	6.5	45	12.1	20	11.4	108	
		キャラクターなど	253	92.7	445	84.9	263	70.5	129	73.3	1090	
		その他	0	0.0	1	0.2	3	0.8	0	0.0	4	
			合計	0	0.0	1	0.2	1	0.3	2	1.1	4
			合計	273		524		373		176		1346
		身体の欠損 (複数評定あり)	欠損なし	245	85.1	397	64.0	233	47.9	100	42.2	975
	足欠損		1	0.3	17	2.7	21	4.3	5	2.1	44	
	手欠損		4	1.4	8	1.3	12	2.5	3	1.3	27	
	眼欠損		19	6.6	94	15.2	101	20.8	59	24.9	273	
	口欠損		18	6.3	93	15.0	106	21.8	62	26.2	279	
	頭部欠損		0	0.0	1	0.2	3	0.6	3	1.3	7	
	身体欠損		1	0.3	8	1.3	10	2.1	4	1.7	23	
	その他		0	0.0	2	0.3	0	0.0	1	0.4	3	
			合計	288		620		486		237		1631
		人物の体のはみ出し	なし	229	83.9	441	84.2	331	88.7	164	92.7	1165
	足から上のみ記述		35	12.8	64	12.2	29	7.8	10	5.6	138	
胸・腰から上のみ記述	8		2.9	13	2.5	5	1.3	1	0.6	27		
首から上のみ記述	0		0.0	4	0.8	0	0.0	0	0.0	4		
右半身のみ記述	0		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
左半身のみ記述	0		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
首から下のみ記述	0		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
胸・腰から下のみ記述	0		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
足のみ記述	0		0.0	1	0.2	2	0.5	0	0.0	3		
その他	1		0.4	1	0.2	6	1.6	2	1.1	10		
		合計	273		524		373		177		1347	
	人物の向き	前	212	77.7	386	73.7	271	72.7	110	62.1	979	
横		44	16.1	83	15.8	46	12.3	38	21.5	211		
後ろ		16	5.9	40	7.6	40	10.7	23	13.0	119		
ななめ後ろ		1	0.4	10	1.9	8	2.1	4	2.3	23		
その他		0	0.0	5	1.0	8	2.1	2	1.1	15		
		合計	273		524		373		177		1347	
	人物の運動	示唆なし	198	72.5	368	70.2	258	69.2	128	72.73	952	
静かな運動		60	22.0	108	20.6	73	19.6	27	15.34	268		
強い運動		11	4.0	18	3.4	14	3.8	14	7.95	57		
評定困難・不能		4	1.5	30	5.7	28	7.5	7	3.98	69		
		合計	273		524		373		176		1346	
	顔の有無	記号人顔あり	12	4.4	31	5.9	27	7.2	6	3.4	76	
記号人顔なし		8	2.9	38	7.3	75	20.1	34	19.3	155		
記号人自然に顔を隠す		1	0.4	5	1.0	0	0.0	2	1.1	8		
具象人顔あり		218	79.9	319	61.0	174	46.6	82	46.6	793		
具象人顔なし		11	4.0	51	9.8	32	8.6	17	9.7	111		
具象人自然に顔を隠す		23	8.4	75	14.3	53	14.2	30	17.0	181		
		その他	0	0.0	4	0.8	12	3.2	5	2.8	21	
		合計	273		523		373		176		1345	
	足もと	足もとの描写があり、水に浸っていない	183	67.0	352	67.3	265	71.0	128	72.3	928	
水に浸かっていて足もとの雨避けの描写あり		5	1.8	6	1.1	8	2.1	3	1.7	22		
水に浸かっていて足もとの雨避けの描写なし		7	2.6	11	2.1	13	3.5	3	1.7	34		
足もとの描写なし		44	16.1	103	19.7	57	15.3	25	14.1	229		
足もとに水たまりがあり、足もとの雨避けなし		27	9.9	42	8.0	18	4.8	16	9.0	103		
足もとに水たまりがあり、足もとの雨避けあり		7	2.6	5	1.0	5	1.3	2	1.1	19		
		雨のない場所	0	0.0	4	0.8	7	1.9	0	0.0	11	
		合計	273		523		373		177		1346	
	雨粒の中の私	該当なし	273	100.0	520	99.2	371	99.5	177	100.0	1341	
該当あり		0	0.0	4	1.5	2	0.5	0	0.0	6		
		合計	273		524		373		177		1347	
	傘の前に顔	該当なし	257	94.1	507	96.8	359	96.2	175	98.9	1298	
該当あり		16	5.9	17	3.2	14	3.8	2	1.1	49		
		合計	273		524		373		177		1347	
付加物	付加物の有無	なし	91	33.3	222	42.4	158	42.4	88	49.7	559	
		あり	182	66.7	302	57.6	215	57.6	89	50.3	788	
		合計	273		524		373		177		1347	

「雨の中の私」画における反応出現頻度とその発達的特徴

			小学生		中学生		高校生		大学生		合計	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
付加物	付加物の種類	人物の私との関係	なし	263	96.3	498	95.0	362	97.1	173	97.7	1296
			あり単数	8	2.9	18	3.4	7	1.9	2	1.1	35
			あり複数	2	0.7	8	1.5	4	1.1	2	1.1	16
		合計	273		524		373		177		1347	
		雲	示唆なし	6	60.0	12	46.2	6	54.5	3	75.0	27
			示唆あり	4	40.0	14	53.8	5	45.5	1	25.0	24
			合計	10		26		11		4		51
		稲妻	なし	176	64.5	406	77.5	290	77.7	152	85.9	1024
			あり	97	35.5	118	22.5	83	22.3	25	14.1	323
			合計	273		524		373		177		1347
		太陽	なし	259	94.9	513	97.9	363	97.3	174	98.3	1309
			あり	14	5.1	11	2.1	10	2.7	3	1.7	38
			合計	273		524		373		177		1347
		虹	なし	266	97.4	521	99.4	365	97.9	173	97.7	1325
			あり	7	2.6	3	0.6	8	2.1	4	2.3	22
			合計	273		524		373		177		1347
		水たまり	なし	273	100.0	522	99.6	372	99.7	177	100.0	1344
			あり	0	0.0	2	0.4	1	0.4	0	0.0	3
			合計	273		524		373		177		1347
		水はね	なし	189	69.2	391	74.6	269	72.1	131	74.0	980
			あり	84	30.8	133	25.4	104	27.9	46	26.0	367
			合計	273		524		373		177		1347
		草花	なし	216	79.1	469	89.5	334	89.5	154	87.0	1173
			あり	57	20.9	55	10.5	39	10.5	23	13.0	174
			合計	273		524		373		177		1347
		樹木	なし	263	96.3	513	97.9	359	96.2	171	96.6	1306
			あり	10	3.7	11	2.1	14	3.8	6	3.4	41
			合計	273		524		373		177		1347
		動物	なし	271	99.3	515	98.3	368	98.7	173	97.7	1327
			あり	2	0.7	9	1.7	5	1.3	4	2.3	20
			合計	273		524		373		177		1347
		道	なし	265	97.1	498	95.0	356	95.4	171	96.6	1290
			あり	8	2.9	26	5.0	17	4.6	6	3.4	57
			合計	273		524		373		177		1347
		建造物	なし	255	93.4	478	91.2	353	94.6	162	91.5	1248
			あり	18	6.6	46	8.8	20	5.4	15	8.5	99
			合計	273		524		373		177		1347
		自然	なし	253	92.7	471	89.9	337	90.3	158	89.3	1219
			あり	20	7.3	53	10.1	36	9.7	19	10.7	128
			合計	273		524		373		177		1347
		武器	なし	270	98.9	519	99.0	371	99.5	176	99.4	1336
			あり	3	1.1	5	1.0	2	0.5	1	0.6	11
			合計	273		524		373		177		1347
		その他	なし	273	100.0	523	99.8	373	100.0	177	100.0	1346
			あり	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1
			合計	273		524		373		177		1347
			なし	253	92.7	443	84.5	322	86.3	166	93.8	1184
			あり	20	7.3	81	15.5	51	13.7	11	6.2	163
			合計	273		524		373		177		1347